

製品名: USP7 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM82784

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	128kDa

抗原情報

遺伝子名	USP7
別名	TEF1; HAUSP; HAFOUS
遺伝子 ID	7874.0
SwissProt ID	Q93009
免疫原	大腸菌で発現したヒト USP7 (AA:1-208) の精製された組み換え断片。

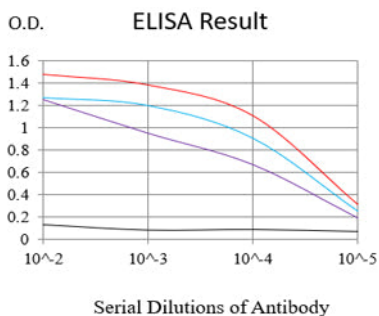
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ユビキチン加水分解酵素を含むペプチダーゼ C19 ファミリーに属します。このタンパク質は、p53（腫瘍抑制タンパク質）や WASH（エンドソームタンパク質リサイクリングに必須）などの標的タンパク質を脱ユビ

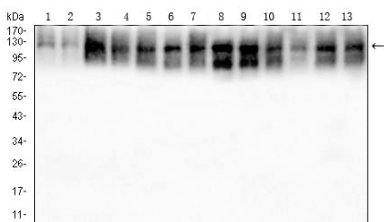
キチン化し、それぞれの過程に関与する HDM2 や TRIM27 などのタンパク質のコピキチンリガーゼ活性を阻害することで、これらのタンパク質の活性を制御します。この遺伝子の変異は、神経発達障害との関連が示唆されています。[RefSeq 提供、2016年3月]

研究分野

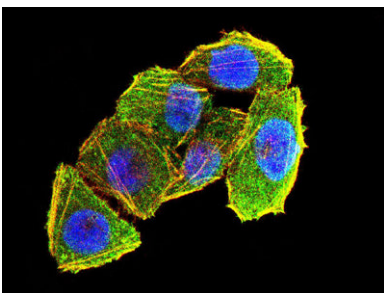
画像データ



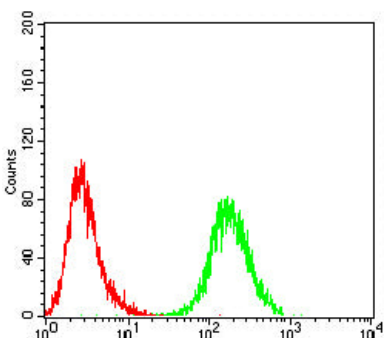
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



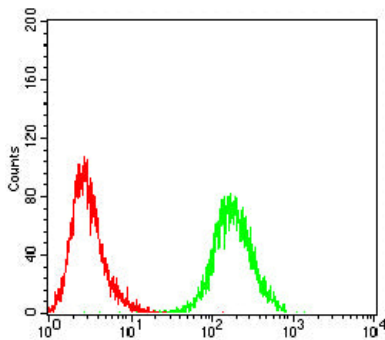
USP7 マウス mAb を用いた Hela (1) 、 A431 (2) 、 MCF-7 (3) 、 Jurkat (4) 、 K562 (5) 、 HepG2 (6) 、 A549 (7) 、 HCT116 (8) 、 HT-29 (9) 、 SW480 (10) 、 C6 (11) 、 COS-7 (12) 、 および NIH/3T3 (13) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



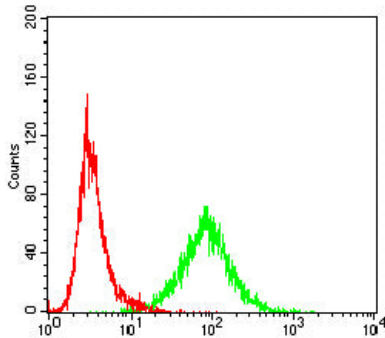
USP7 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



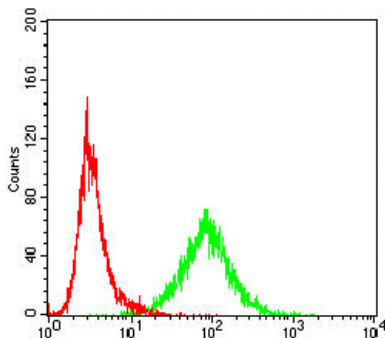
USP7 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



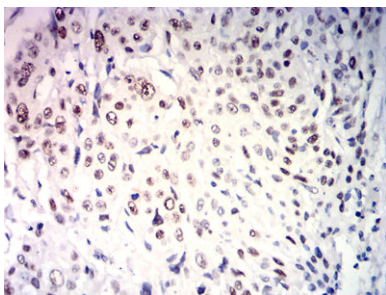
USP7 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



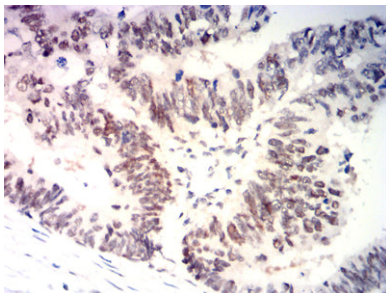
USP7 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



USP7 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



USP7 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



USP7 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。